



第4期



かこがわ教育ビジョン

加古川市教育振興基本計画

令和7年度～令和11年度



令和7年2月 加古川市教育委員会



策定の背景

これまで、「ともに生きるこころ豊かな人づくり」を基本理念に据え、「努力する人」「心あたたかい人」「行動する人」の実現に向け、学校園・家庭・地域が連携・協力しながら、こどもたちの学びや育ちを支え、生きる力を育む教育を推進してきました。

この間、教育を取り巻く環境は大きく変化しており、教育の在り方も、時代に応じた変革が求められています。

こうした背景や、「第3期かこがわ教育ビジョン」が令和6年度に終了することから、改めて本市の教育の方向や目標を定め、その実現に向けて今後5年間で講ずるべき施策を示した、第4期「かこがわ教育ビジョン（加古川市教育振興基本計画）」を策定するものです。

位置づけ

教育基本法第17条第2項に基づく「地方公共団体における教育の振興のための施策に関する基本的な計画」

対象

市立の幼稚園、保育所、認定こども園、小学校、中学校、義務教育学校、特別支援学校における教育と、家庭や地域における教育

計画期間

令和7年度から令和11年度までの5年間

教育を取り巻く環境の変化と課題

教育活動の制限、
学びの継続の確保

- 新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、学校園の教育活動に制限が生じ、こどもたちの学びの保障や心のケアが課題
- 教育活動の制限による影響が、今後も継続することが懸念され、継続した見守りや、さらに顕在化する課題への対応が必要
- 今後、不測の事態に直面しても、こどもたちが学びを継続できる体制を整備することが必要

人口減少、
少子高齢化の進行

- 本市の総人口は、令和12(2030)年には約24.3万人、令和22(2040)年には約21.8万人になる見込み
- 社会の活力を維持・発展させるためには、一人一人が自らの個性や能力を発揮して、地域社会に参画し、貢献していくことが必要であり、生涯にわたって学び続けることのできる機会の充実も求められる
- 学級数や1学級の児童生徒数が著しく減少している地域もあり、互いに切磋琢磨する機会の減少や、人間関係の固定化などの様々な課題がある
- 令和6年4月に、加古川市立義務教育学校「両荘みらい学園」が開校し、特色・魅力ある取組を展開している

教育を取り巻く環境の変化と課題

技術革新の進展

- 人工知能（AI）やビッグデータの活用などの技術革新が急速に進んでいる
- GIGAスクール構想による1人1台端末等、ICT環境の整備が進展した
- SNSを介した犯罪被害が社会問題化し、こどもの日常生活に多大な影響を及ぼしている
- 情報モラルや情報活用能力の育成を図るとともに、ICTを最大限に活用できる環境を整備し、教育DXの推進が求められる

グローバル化の進展、 国際情勢の不安定化

- 加速度的にグローバル化が進展している
- 貧困や紛争、感染症や環境問題など、地球規模で人類全体が共通して直面する課題が増加している
- 国際社会に生きる人として自覚を持つことや、チャレンジ精神、コミュニケーション能力等の国際社会で主体的に活動するための力を身に付けることが求められている
- 自らの国や地域の伝統・文化への理解を深め、尊重するとともに、異なる文化や歴史を持つ人々と、互いに文化や習慣、価値観を尊重し合い、共に生きる心を育成することが必要

教育を取り巻く環境の変化と課題

多様性と包摂性のある共生社会の実現

- 障害の有無や年齢、性別、文化的・言語的背景、家庭環境等に関わらず、全ての人の可能性を広げ生き生きと輝く共生社会の実現に向け、社会的包摂の推進が求められている
- 不登校、特別な支援や配慮、医療的ケア、日本語指導、複合的な困難等、多様なニーズを有するこどもへの対応ができる体制を整備する必要がある
- 多様性の尊重は、学校のみならず、社会全体で重視すべきものであり、こどもだけでなく、大人も含めて、寛容で成熟した存在となることが重要

教職員の働き方改革

- 教職員の業務が多岐多様にわたり、長時間勤務となっている実態から、働き方改革は急務
- 教育の質の向上を図るため、教職員のこれまでの働き方を見直し、教職員が担う業務の明確化・適正化など、学校における働き方改革を加速度的に進めることが重要

加古川市が めざす 教育の姿

学校教育をはじめとした生涯学習全般を通じて、持続可能な社会を創るとともに、一人一人のウェルビーイングの向上につながるよう、本市のめざす基本理念を定める

めざすべき 具体的な 人間像

基本理念を達成するため、「教育は人づくり」という視点に立ち、子どもが培うべき力を見据えた上で、めざすべき具体的な人間像

加古川市
の教育の
基本理念

ともに生きる ころろ豊かな 人づくり

学び続ける人

自ら生きる力を育み 生涯にわたり 夢や目標に向かって 学び続ける人
生きる力（確かな学力（知）・豊かな心（徳）・健やかな体（体））をバランスよく身に付け、生涯にわたって、夢や目標を持って学び続ける人

心あたたかい人

互いに支え合い 命を大切にする 心あたたかい人
思いやりや寛容の心を持ち、様々な人々とともに生きる態度を身に付け、命と人権を大切にする人

行動する人

未来を切り拓こうと 自覚と責任を持ち 主体的に 行動する人
公共の精神に基づき、よりよい社会づくりに向けて他者と協働し、自ら考え主体的に行動する人

柱

本市がめざす人間像と、実際に展開される教育に関する施策や事業を結び付け、本市の教育において総合的かつ計画的に取り組むべき基本方針の方向性を示すもの

加古川市の未来を担うすべてのこどもの「生きる力」を育みます

未来を切り拓く
力の育成

全ての人が生き
生きと輝く教育
の推進

一人一人が幸福感の高まりを感じられるよう、誰もが安心して学び続けることができる機会と環境づくりを進めます

学校園・家庭・地域、また校種間のつながりにより、こどもをはじめ多世代にわたる学びを支えます

地域総がかりの
教育の推進

質の高い教育を
支える教育環境
の整備・充実

教育に関わる全ての人にとって、安全・安心で魅力的な教育環境をめざします

計画体系図

本市の教育において
総合的かつ計画的に
取り組むべき方向性を
示すため

4つの「柱」

14の「基本方針」

「具体的な取組」

の関係を体系的に示
すもの

